



東京立川ロータリークラブ

2018.9.21 第2809回 例会

# Weekly Report



本日の卓話講師、菅山明美様を囲んで

## 【司会進行】

SAA委員会 矢澤俊一委員

【開会点鐘】 清水淳一会長

【ロータリーソング斉唱】

『我らの生業』

【お客様の紹介】 清水淳一会長

【会長挨拶】 清水淳一会長

【幹事報告】 平井洋孝幹事

【委員会報告】

社会奉仕委員会 木村辰幸委員

【ニコニコ発表】

親睦委員会 齋藤優委員

【出席率の発表】

出席委員会 肥沼俊男委員長

9月21日(金)	会 員 数	113名
	出席義務会員	105名
	出席免除会員	8名
	当日出席者	94名
	出席免除会員の当日出席者	2名
	出席率	87.85%
	9月7日の出席率	83.33% → 100%

【卓話講師紹介】

プログラム委員会 齋藤仁委員

【卓話】

株式会社NHKエンタープライズ

経営企画室 部長 菅山明美様

【閉会点鐘】 清水淳一会長

## 【会長挨拶】 清水淳一会長

昨日お彼岸に入りましたが今週末9月23日(日)は秋分の日で、お彼岸の中日でもあります。暑さ寒さも彼岸までと言いますが、広辞苑には国民の祝日で、祖先を敬い亡くなった人々を偲ぶ日と載っております。皆さんもお墓参りに出かけるとは思いますが、私、清水家の菩提寺、砂川三番にある鎌倉は建長寺派天龍山流泉寺の住職によれば、お正月、春のお彼岸、お盆、秋のお彼岸、そして親の命日と、最低年5回はお墓参りをしなくてははいけないそうです。お墓参りのマナーとしては、まず本堂のご本尊様を先にお参りする。タバコをあげる場合は、隣のお墓のご先祖様がタバコを嫌いな場合があるから火をつけない。供物はお墓がカラスなどに汚されるから持ち帰る。「ぼたもち」と「おはぎ」は同じもので春は牡丹の花が咲くから「ぼたもち」、秋は萩の花が咲くから「おはぎ」。ちなみに、萩が入った秋の七草は、そもそも食用ではなく観賞用だそうです。お墓参りのタブーとしては、持って行ってはいけない花は、棘があるからバラは駄目だそうです。昔、武士が首を斬り落とされるのを連想するので、花がボトンと落ちるからツバキも駄目、毒があるからスズランも駄目と言われております。埼玉県日高市は巾着田の曼珠沙華公園には、彼岸花の曼珠沙華が咲き、今が見頃です。川岸に咲き乱れ鮮やかです。私は何回か行ったことがあります。まだ行ったことがない方は是非行ってみたいかがでしょうか。そして、翌日の24日は中秋の名月、十五夜です。今では縁側に団子とすすきを供えている風景はなかなか見られません。最近では住宅事情や、ビルやマンションが立ち並び縁側がある家でも満月を見る事ができなくなったりします。昔は月見の名所というところがありました。江戸時代では隅田川の三つ又という所に船を浮かべて見る月が良いとされ、十五夜の夜はそのあたりは船で満杯になったそうです。また、お城に月見櫓というものがありますが月見という優雅なイベントのためにわざわざ作ったもので、殿様はよっぽど月見を重要視していたのでしょう。今でも月見櫓は岡山城や松本城に現存しているので、機会があったら見学されてはいかがでしょうか。昔からの日本の文化、風情、大切に後世に残していきたいものです。我が家も、来年会長が終わりましたら、日本の風情を楽しみたいと思います。



清水淳一会長

## 【お客様の紹介】 清水淳一会長

菅山明美様(株式会社NHKエンタープライズ 経営企画室 部長)

小田原潔様(東京日野ロータリークラブ)

2018~2019年度 RIテーマ

2018~2019年度  
国際ロータリー会長  
バリー・ラシン



インスピレーションになる

2018~2019年度 クラブテーマ

「一期一会  
ロータリー」

東京立川ロータリークラブ  
会長 清水淳一



司会進行  
矢澤俊一委員



ニコニコ発表  
齋藤優委員



出席率発表  
肥沼俊男委員長



例会時には必ずバッジをつけましょう

## 【幹事報告】 平井洋孝幹事

- 本日例会終了後、ロータリー財団委員会の炉辺開催予定。
- 本日18:30よりパスト会長会がパレスホテル櫓にて開催予定。
- 9月25日18:30より社会奉仕委員会・職業奉仕委員会合同炉辺がパレスホテル櫓にて開催予定。
- 9月26日18:30より親睦委員会の炉辺がパレスホテル3階にて開催予定。
- 9月27日米山奨学委員会が静岡県三島市にある米山梅吉記念館見学後、18:00よりパレスホテル瑞燐にて炉辺が開催予定。



## 【委員会報告】

### 社会奉仕委員会 木村辰幸委員

8月24日の「フードドライブ事業 サンクスウィーク」の実施報告ですが、年度初めの委員会活動方針の場を始め、例会での委員会報告、また冊子や看板を作成しPRして参りました。集荷当日は、当日出席97名の中、75名約80%の会員の皆様に食品をお持ち頂きました。委員会としては、食品の中身が何であるかや物量よりも、お一人でも多くの会員に本事業の趣旨にご賛同と参画を頂くことを重視し進めて参りましたので、本当に意義深い結果になったと考えております。集荷当日に立川市社会福祉協議会さんにお引き渡しし、その後フードバンク立川さんの手で食品別に仕分け頂き、現在、市内各地にあります「こども食堂」を中心に必要とする団体、ご家庭へのお渡しが進んでおります。量を主目的とはしていなかったものの、今回の総重量が354.1kgとなり、一回の集荷としては質・量ともに過去最高であったとの報告を頂いております。改めまして皆様のご理解と参画に委員会一同感謝申し上げます。最後になりますが、お持ち頂く食品の期限表記がわかりづらかったなど、改善点も出ておりますので、本事業の定着を目指し今後も委員会として精査し活動して参ります。



## 【ニコニコ発表】 親睦委員会 齋藤 優委員

- 東京日野ロータリークラブ 小田原潔様 新しい親分も昨日決まりました。引き続き気を引き締めて働きます。今日はメイクアップでお邪魔します。
- 清水淳一会長 卓話講師でいらっしゃいます株式会社NHKエンタープライズ 経営企画室部長 菅山 明美様、本日はお忙しい中、足を運んで頂き有難うございます。

短い時間ではありますが、先生のお話楽しみにしております。宜しくお願い致します。

- 平井洋孝幹事 株式会社NHKエンタープライズ 経営企画室部長 菅山明美様、本日の卓話楽しみにしております。
- 松浦孝治さん 去る8月24日に開設させて頂きました、サンクスウィーク事業には多数の会員の皆様に御協力を賜りまして、有難うございました。また、入会記念月のお祝い有難うございました。
- 齋藤 仁さん 菅山さん、御多忙の折、お越し頂き有難うございます。本日の卓話、宜しくお願い致します。

本日合計 22,000円 本年度累計 768,000円

## 【卓話講師紹介】

### プログラム委員会 齋藤 仁委員

菅山様は横浜の山手にお生まれで、現在も元町に住まわれている生粋の浜っ子であります。1986年立教大学をご卒業され、NHKアナウンサーをされた後、NHKの制作会社である(株)NHKエンタープライズにおいて、番組制作や映像制作等様々な映像コンテンツを手がけられておりました。近年はディズニーランドのシンデレラ城に代表されます「プロジェクトンマッピング」の第一人者として手掛けられ、普及やイベントでもご活躍されています。その傍ら麻布大学の講師も務められ著書も発表される中、様々な賞も受賞されており、そのマルチな才能を発揮されております、素晴らしい女性です。



## 卓話『メガ映像と地方創生～エンタテイメントの可能性』 株式会社NHKエンタープライズ 経営企画室 部長 菅山 明美様

本日は伝統と格式ある立川ロータリークラブにお招きいただき、誠に有難うございます。アナウンサー経験はひた隠しにしておりましたが、34歳ぐらゐまで務めており、その間様々な失敗も経験させて頂き、その時には沢山のお電話も頂きました。また自身が大柄である事から、男性アナウンサーとのバランスも悪く、ディレクターの方が生き延びられるのではないかと思いますし、取材も色々出来て楽しそうだったという事もあり転向致しました。転向後も真面目にテレビを作っておりましたが、ある時テレビの枠の中だけで仕事をする事が小さく感じ、その他思う所もありながら出会ったの





東京駅でのプロジェクションマッピング

がプロジェクションマッピングでありました。プロジェクションマッピングを手掛けた一つに2012年の東京駅でのものがありまして、この時に新しい文化が出来る瞬間という物を初めて見ました。駅がリニューアルするという事で、まだ駅前のロータリーも出来ておりませんでしたので、そこから建物に向けてプロジェクションマッピングをして欲しいというオーダーでした。その前は試作品という事で、成蹊大学等で試写をしましたが、当時日本には他に出来る技術者がおらず大変でした。東京駅ではプロジェクターを36台使用しました。また東京駅の周りはとても明るいため、テストの時には壁に映像を当てているのですが、全く見えず、更に明るくするために照度2万ルーメンのプロジェクターをカナダから空輸致しました。そして36台のプロジェクターを同じ箇所にも2台で当てる等の工夫をしました。テストが夜中に行なわれていながらも歩行者に見えてしまい、SNS等でどんどん情報が漏れ、当日は沢山の人で溢れかえる状態でした。道路だけでなく向かい側の丸ビルの窓にも、びっしりと人影があり、ビルが倒れてしまうのではと思うくらいの状況でした。中止にせずに済んだのは、JRの方々の危機管理が素晴らしかったからで、二日間に渡り上映しましたが、会場にはNHKの名前の看板が掲げられておりまして、通常そのような状態ですと民放は取材して頂けないのですが、沢山取材に来て頂きました。この時に「プロジェクションマッピング」という言葉が一気に広まりました。その後もう一度東京駅前で別の会社が開催す

るという予定だったのですが、残念ながら中止となってしまいました。2013年からは「復興」という事でメガ映像を利用できないかという事で、福島県の会津若松の鶴ヶ城で初めて上映しました。映像は元々が映画で始まりましたが、それがテレビになって少人数で見えるようになり、それが更に小さくなって掌に入るまでになりました。これにより時間も短くなっていきまして、中身も変わって来ました。以前は起承転結でしたが、現在はわず



鶴ヶ城でのプロジェクションマッピング

か6秒になっており、この短時間に共感を得られなければその先の15秒は見てもらえない、というのに代表されるのがYouTubeであるのです。しかし皆で見て楽しんで共有するからこそ良いのだと思ったので、メガ映像の世界ではもう少しできる事があるのではないかと考えて始めたのが、プロジェクションマッピングだったのです。親子三世代が同じ映像を見て体験して、それを共有出来るというのが大切だと信じてやってきました。2013年3月10日に鶴ヶ城で上映したのですが、冬の鶴ヶ城は殆ど観光客がおらず、かなり積雪もある状態でしたが、オープニングには綾瀬はるかさんにもお越し頂き、復興でありますので予算も当方から捻出し城だけお貸し頂くという形にしたのですが、唯一の不安はやはり町の方々が来てくれるのだろうかという事でした。そして準備についてはやはり日没から翌日朝までという事で、50名ほどのスタッフで調整をおこないました。プロジェクションというのは「投影する」という意味で、「マッ

ピング」というのは映像をはめていくという事です。光は直線にしか飛びませんので、城で大変になるのはシャチホコで、ここにも上手に光を切って当てています。でするので技術力が低いと、周りの道路に映ってしまったり、隣のビルに映ってしまったりするのです。それでも必死に準備して、その後に日中喫茶店にまでまわって、是非来てほしいと訴えていましたが、とても不安が募りました。なにせ会場は2万人来てても良い状況だったからです。しかし当日町の人達がどんどん城に向かって歩いてきてくれ、結果として3万人程来て頂きましたが、あまりの人の多さに危険を感じて中止の要請をしましたが、初日は何とか開催致しました。そして翌日もSNSで拡散されて反響が大きく、これでは更に危険になる可能性が高い事から、急遽会議を開催しました。城は三カ所の門からしか入る事が出来ないのですが、警備の方をお願いをして絶対に入れないようにして、更に観客は6,000名程度に絞って、それ以上は帰って頂くように市役所の方々にもお願いをしました。この城は地元の方々にとっては、とても誇りに思っている城で、戊辰戦争の時に残念な結果となってしまった事を受けて、どのような映像を映し出す事が皆さんにとって喜ばれるのか、来年も再来年も続けてほしいという気持ちになって頂けるかを、プロデューサーとディレクターと自分とで話し合いを重ね、一日中鶴ヶ城にいて考えました。夕方になってここにある色々な思いを昇天させるというような映像にしようと、八重の桜の音楽に合わせて、桜の花びらを下から舞い上がるような映像にした所、地元の方々に大変喜んで頂いて、間違いではなかったと感じた一年目でした。二年目以降、経済効果もなければ開催の意味が半減してしまうという事もありますし、市からの資金が出ましたし、協賛金も集まりました。近くの温泉は開催時期の稼働率が20~30%しかなかったため、旅行会社にはツアーを組んでほしいという依頼もしました。最終的に稼働率は100%を達成する事が出来まして、成功させる事が出来ました。そして映像が地方にお金を落としてくれる起爆剤となり、モデルケースとなりました。3年間は鶴ヶ城で開催し、その後海側にある白河に場所を移して2年間開催し、6年目は会津若松と白河の2ヶ所で開催する事が出来ました。そしてそこから更に沿岸部に行きたかったのですが、よく考えると被災地は地元民の方も復興で忙しい上に、そもそも決めら

れた日時に決められた場所に来れば見られるという、上から目線のコンテンツの意味合いがあるため、どうか出前型のものが出来ないかと考えた結果、学校プロジェクションマッピングというものを作りました。それが昨年開催されたのですが、給食後の5時間目から学校の生徒全員の写真を撮らせて欲しいとお願いしそれを映像に入れましたが、生徒数にも寄りますが映像を読み込む作業時間が限られている中、一人一人の顔を校舎にマッピングするというプログラムを作りました。音楽は「花は咲く」です。全部で80枚の写真を入れたので、生徒ツーショットの写真やスリーショットの写真もありますが、急いで編集をしまして、生徒達には一度下校してもらい、18:30にもう一度集まって頂き上映しました。この上映を経て自分の中では夢の構想が広がっておりまして、福島県をプロジェクションマッピング県にするという事で、勝手に各市市長にも自身で作成したプロモーション映像をご覧頂いております。概ねご評価を頂いておりますが、予算があればという事も言われました。こういった妄想もここまでいくとどうかと思われるかと思いますが、最初に誰かが発想をして旗を振っていただければ、何か起きるかもしれないと思って行動しております。地方でも、ここ立川でもまだまだ映像に出来る事が沢山あるのではないかと考えているのですが、それを信じてこれからも活動にまい進したいと思っております。本日は有難うございました。



福島市立南向台小学校で行われたプロジェクションマッピング

事務局／東京都立川市曙町2-34-6 小杉ビル8階  
【TEL】042-525-4046 【FAX】042-529-2666  
【HP】<http://www.tachikawa-rc.org/>  
【E-mail】[ttrc8082@sepia.ocn.ne.jp](mailto:ttrc8082@sepia.ocn.ne.jp)

例会場／東京都立川市曙町2-40-15 パレスホテル立川  
TEL：042-527-1111  
例会日／金曜日 12：30点鐘  
会長／清水淳一 幹事／平井洋孝 会報担当者／反町太一委員